



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 会員卓話／青少年奉仕委員会
前田剛志会員
- 次回例会日時 2019年6月3日(月) 12:30～
- 次回プログラム 創立記念卓話／プログラム委員会
信国秀昭会員、井上幸三会員

■第1262回例会記録

- 日時……………2019年5月20日(月)12:30～
- 点鐘……………会長
- 国歌「君が代」斉唱……………全員
- ロータリーソング「奉仕の理想」……………全員
- ゲスト紹介
中国放送相談役 安東善博様

■開会挨拶……………角谷会長

被災地への支援の形

皆さんこんにちは。本日はゲストに中国放送相談役、安東善博様にお越しいただいております。安東様、お忙しい中、ありがとうございます。後ほどよろしくお願ひいたします。

さて、4月はやきもきさせられましたが、5月に入り、12勝3敗、勝率8割と絶好調のカーブ。明日の三次きんさいスタジアムの広島VS中日を皮切りにカーブの独走が始まることでしょう。そしてカーブファンの皆さん、美味しいお酒が増えそうですね。

先日、美和桜酒造さんが酒のコンクールで金賞を受賞されておりましたが、このお酒の話題です。

東日本大震災や熊本地震などの被災地支援の一環で47都道府県の米を使った日本酒の仕込みが福島県会津坂下町の曙酒造で始まったそうです。

東京の城南信用金庫が中心となって企画し、各地の信金幹部らが参加され、今年が3回目だそうです。日本酒は「絆舞 令和」と銘打ち、各地の120種以上の米をブレンドしているそうです。

10月に発売され、売上の一部が被災地に寄付さ

れます。詳しくは、ネットで検索してみてください。

震災後なかなか被災地に人が戻らなく、少しでも地域を元気にとの思いで企画し、続けられています。ときおりニュースで震災地の復興の情報を耳にしますが、震災前の状況までにはまだまだ長い道のりだと感じられます。

支援の形は様々ありますが、そんな時、いつも思うのが被災された地域のロータリークラブの皆さんは現在どのような活動をされているのか知りたいという事です。震災の記憶が薄らいでいく中で、我々に何ができるのか、を的確に教えてくださいませんか。



事務所／広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場／広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセ三次2F
例会日／月曜日 12:30～13:30

会長／角谷俊典
幹事／栗本清秀

●2018～19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう

●2018～2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
増やそう ロータリーの友

■幹事報告.....栗本幹事

- 6月3日第12回理事役員会を19時より味の四季庭ひらたにて開催いたします。

■出席報告.....水野委員長

- 第1260回 4月22日

会員数	39名	Make-up	6名
欠席	9名	出席合計	36名
欠席者のうち本席免除	3名	出席率	100%

- Make-up…石田君、箕田君、中島諭君、中島清貴君、瀧本君、鈴木君
- 第1262回 本日の出席は39名中35名です。

■次年度幹事.....井上幸三会員

- 本日19時よりグランラセーレにおいて、会員組織委員会・SAA・会計インフォーマルミーティングを行います。
- 5月23日(木) 19時より次年度奉仕プロジェクト部門のインフォーマルミーティングをむらたけにて行います。
- 5月31日(金) 19時より第3回次年度クラブ協議会を行います。会場は後ほどご連絡します。
- 5月27日(月) 各委員会の活動計画書の締め切り日です。よろしくお願いします。

■SAA.....大井SAA

- ゲストニコニコBOXご出宝
安東善博様より御志をいただきました。
- 会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 11,000円

■プログラム《ゲスト講演》.....国際奉仕委員会

皆さんこんにちは。今日は国際奉仕委員会担当です。講師のご紹介をします。中国放送の相談役、元社長の安東善博さんです。皆さん、ご存知と思いますが、金井宏一郎さんの次の社長さんです。

知り合ったきっかけですが、私が民団団長の年に、あて職で広島日韓親善協会の副会長されており、知り合いました。今でも日韓親善協会の名誉会長としてご尽力いただいています。他にも、民放クラブ、中国地方を統括する中国民放クラブの会長をされています。また、特定非営利活動法人広島アニメーションシティの代表で、2003年、東城でヒパゴンを題材にした「ヒナゴン」というアニメを作られました。中国地方のテニス協会の会長もされています。今度、広島でテニス国際試合がありますが、この代表世話人として運営を頑張られています。社会福祉法人リハビリテーション、広島ベトナム協会の理事でもいらっしゃいます。

いろいろな国際交流の経験について、「私が歩んだ国際交流」ということで自由にお話し頂きます。よろしくお願い致します。



沈 勝義 国際奉仕委員長

私が歩んだ国際交流

中国放送相談役 安東善博



皆さんこんにちは。ご紹介いただきました安東です。本日はご招待いただきまして誠にありがとうございます。沈さんとは、以前会長をしていた日韓協会で大変お世話になりました。大前さんにもお世話になりました。経済同友会では大活躍された町里さんとも、今日、久しぶりにお会いして嬉しく思います。本日はクールビズを先取りしました。5年広島ロータリーに入会しておりましたが、失礼しました。

さて、本題の国際交流でございますが、中国放送の社長をしますと、親善協会の会長になるという義務があります。というのは、事務所が本社内にあるものですから、社長が会長になります。ということで、社長時代に会長を務めまして、今は名誉会長ということでやっています。

広島市は、全国でも二国間交流、広島と韓国、広島とアメリカ、とか二国間交流の団体が多いです。マツダがメキシコと交流し、中国電力はカナダ、広島銀行がイギリス、広島信用金庫がシンガポール等、かなりの会社がある会社の中に事務所を置いて二国間交流をしています。

実は日韓交流協会は、年2回総会と忘年会をする際には400人くらい、留学生も100人くらい呼んで大変賑やかにやります。それと、大邸が広島と姉妹都市ですから、大邸とも交流しています。そのお陰で、色々友人もできまして、年に1、2回は韓国に行っております。

また、広島ベトナム協会、これはベトナムと国内、広島企業のつながりがあります。仕事、留学生等の関係です。私もベトナム協会に入っていますが、実は、ベトナム人の孫が二人おります。驚かないで下さい。というのは、広島ロータリーにいるときにベトナム人留学生に奨学金を渡すことになりました。その際、私が米山奨学会の委員長をしていたものですから、彼と付き合いまして、卒業してから就職の世話もして、今はベトナムに帰っています。その彼が結婚したとき、子どもが生まれたときに、ベトナムに来てほしいということで、今では「広島のおじいちゃん」ということになって

います。

また、日本で勉強したいという女の子がいて、私費留学生ですが、バイトにも勉強にもとにかく忙しいのです。県立福井大学に合格して、暑いところから寒いところに入學するんだねと話したのですが、福井大学、秋田大学は奨学金がいいということで、選んで入學したそうです。しっかり彼女も勉強しまして大手企業に入りました。これも結婚するからということでハノイに帰りまして結婚式に出ました。去年1月に子どもが生まれたということで東京に会いに行きました。

そんなこんなで、内よりも、外の孫のほうが多いという状況ですが、楽しい話があり、おかげでベトナムに旅行もできます。

次に、広島アイルランド協会というのがあります。ご存知のイギリス近くの島ですが、新天地近くのスコッチを置いているバーがあって、そのバーテンダーが、赤いシャツを着ていたのでバーテンダー協会でも地位がある方だと思いますが、どうしてもアイルランド協会を作りたいということで、作りかけていたら、がんで亡くなってしまいました。発足した時には亡くなってしまったのですが、会員は50人前後います。

しかし、実際アイルランドにいった会員はほとんどなくて、医師と大学教授が渡ったくらいで、その他は誰も行ってないのに、とにかくアイルランドのことを知ろう、いつか行こうということで話していますが実現していません。

アイルランドは、食べ物はおいしくないという話ですが、郷愁を誘いますね。日本の童謡のいくつかがアイルランド民謡からとっているということですが、郷愁があるなど、会に出ては想いに浸るのです。

アイルランド研究者に小泉凡さんがいます。小泉八

雲のお孫さんが松江にいらっしゃるということで、私が中国新聞にいた際、松江に勤務した際に紹介されたのですが、小泉凡さんと知り合いました。アイルランド協会を立ち上げたら、凡さんが講師に来られて、ずいぶん大きくなったなあと、久しぶりに楽しく話しました。

こういう国際交流というのは、僕が知っている世界とはまた違った世界を見せてくれますし、経験させてくれます。英語はしゃべれない、困ったことです。広島大学教育学部を出て先生になろうとしたのですが、うまくいかず、中国新聞に入りました。今、学校の先生になったらどうしていたかと思うこともありますが、ならなくてよかったと思います。

記者生活を始めたころに原爆、平和関係の取材をすることになりました。社会学の勉強はしましたが、医学、物理学、化学の問題も絡んできます。英語、ドイツ語がわからないと取材ができないということになり、何とか予習して取材してきたのですが、取材途中に知り合った先生方、友達等、知り合いの方からこっそり教えてもらうと、「ここを聞いてみたら」と言ってくれるのです。

キャップ、デスクになりました時には、記者に対して、人に顔を合わさないとだめだ、インターネット、電話では駄目だといひます。インターネットで記事を取って失敗する話もあります。電話で取材する記者は相手にしないでいいです、訪ねてきたら話をして下さったらいいいです、と僕のエリアの取材対象の方々には記者を鍛えて頂きました。

引き出しを、とにかく引き出しを多く持ち、困ったら別の引き出しを開けてみる、これが仕事をしていくうえで必要なんだと感じていました。国際交流は一つ、それを作ってくれる。社員の皆さんと話するときも、現役当時はこう話していたものです。

付随の話になりますが、スイスのパーゼルという都市があります。海のプラごみをどうやって削減するかという会議をしています。日本人が一人いて、パーゼル音楽学校推薦の留学生をつれて国際演奏経験をさせてやろうというので、年1回日本にわたってきます。2年に1回は広島に来られます。演奏の場所を探してくれと言われて今もお手伝いをしています。3月に電話があり、パーゼル日本人会で、7月豪雨災害で見舞金を出したいということで金を集めたので広島県に寄付したい、知事に確実に渡している写真がほしい、そ

れを会報に乗せたい、というのです。無理を言って知事をお願いしたのですが、私の肩書きは日韓親善協会ですか、テニス協会ですか、となって、いずれも違うので「パーゼル日本人会広島駐在」というところにして、「知事の動静」で新聞に載せてもらいました。「いろんなことをやるんじゃないか」と言われます。

楽しい話ばかり言いましたが、日韓親善協会というのは大変難しい団体です。国と国との関係があると若干の影響があります。日本と朝鮮半島の関係は歴史始まって以来、文化伝統芸術、国の形も教えて頂いたり、朝鮮通信使、明治以降の話もあります。原爆被害にあわれた韓国の方、1万人とも2万人ともいわれます。前の総領事は被爆2世ということでした。領事がお父さんが被爆した場所を確認されたということもありました。韓国と広島は深い関係にあります。

国際交流はまず民衆の付き合い、それから国と国との関係になります。国と国との関係がおかしければ、民間での付き合いで「良い関係を作っていこう」と言えるのだと思います。日本と韓国にこれは限りません。ITなど、国境のない時代になりました。ある意味で危機を新しい道具を活用して国際交流の形を作っていくというのが民間交流の仕事ではないかと感じています。日韓協会の名誉会長という名前をもらって、会合に出て話をして未だに勉強させていただいています。

実は厚かましいのですが、テニスの国際試合をご案内します。テニス協会の会長をしているものですから、花キュービットオープン、世界ランキング30～50位くらいの選手がでます。一昨年に大阪なごみが出場して、一回戦で負けましたが、翌年アメリカで優勝しました。今回も来てほしいのですが、ランキングが違いますね。ランキングは30～50位ですが、それでもすごいスピードです。ボールが自分にとんでくるのではないかと思うくらいのスピードです。おいでになるようであれば、有料ですがチケットを準備させていただきます。

